

「インバウンド&全国逸品商談会」を実施

東京オリンピックの開催まで残すところ1年余りとなり、訪日外国人のますますの増加が見込まれる中、バイヤー企業はインバウンド向けの魅力的な東京みやげ、日本みやげ等を渴望しています。

そこで、当金庫では、平成 31 年 3 月 19 日（火）・20 日（水）に、食品・雑貨の製造・販売を営むお客様を対象とした「インバウンド&全国逸品商談会」を開催しました。

全国の信用金庫のお取引先にも広く参加を呼びかけさせていただき、商社や百貨店、土産店、通販サイト等の各バイヤーブースにおいて、時間いっぱいまで熱心な商談が行われました。大きなビジネスチャンス場として、実りの多い2日間となりました。



「城南社会貢献賞」を表彰

平成 31 年 2 月 18 日（月）、「城南社会貢献賞」として、たまプラーザ支店のお取引先である有限会社プロログ様を表彰いたしました。

プロログ様は、「わざわざ行きたくなるお店」をコンセプトに、パン屋 3 軒、ベーカリーレストラン 1 軒、パスタ専門店 1 軒を展開しています。

「パン作りを通して、社会の役に立てる活動をしたい」との強い思いから、東日本大震災の際には被災地に支援物資としてパンを送るとともに、現地へ赴き、揚げたてのカレーパンを作って配付しました。また、障がい者施設の方々が石臼で引いた小麦粉を自社のパンの材料として使用しているほか、全国の障がい者施設を巡回してパン作りを指導、障がい者の「パン・コンテスト」の開催に協力するなど、福祉活動にも積極的に取り組まれています。さらに、パン専門学校の講師、特別支援学校の授業、カンボジアのパン学校設立にも携わり、パン作りの技術を指導されています。



人を大切にする気持ちを持ち続け、広く社会に貢献されていることから、この度、表彰させていただきました。



城南信用金庫の経営内容について（平成31年2月末）

1. 預金と貸出金について

	30年3月末	31年2月末	増加額（増加率）
預金残高	3兆6,325億円	3兆6,690億円	365億円（1.0%）
個人預金残高	3兆1,227億円	3兆1,448億円	220億円（0.7%）
貸出金残高	2兆1,967億円	2兆1,770億円	△196億円（△0.8%）

※預金残高には、譲渡性預金（30年3月末：1億円、31年2月末：0億円）を含んでいます。

2. 不良債権について

当金庫では、「自己査定に基づく分類貸出金」「金融再生法で定められた債権区分」「信用金庫法で定められたリスク管理債権」の3つの基準で不良債権を開示しています。

①自己査定に基づく分類貸出金

●債務者区分別貸出先数・貸出金残高等

（金額単位：億円）

		先数	金額（構成比）
正常先	業況が良好で、財務内容にも問題のない先	46,545	16,210（74.5%）
要注意先	今後の管理に注意を要する先	5,996	5,080（23.3%）
内訳	A 貸出条件緩和債権がなく、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	5,955	4,995（22.9%）
	B 貸出条件緩和債権があり、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	27	39（0.2%）
	C 期限経過・延滞が1ヵ月以上3ヵ月未満の先、ならびに要管理先のうち、無保全額が多額で、将来においてリスクの発生する可能性が高く、個別に引当を行うことが望ましい先	14	45（0.2%）
破綻懸念先	事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	1,098	388（1.8%）
	経営改善支援のため積極的に融資を行っている先	135	96
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	255	75（0.3%）
破綻先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	68	12（0.1%）
国・地方公共団体（回収について危険性がなく、債務者区分を行っていません）		1	3（0.0%）
合計		53,963	21,771（100.0%）

●分類貸出金

（金額単位：億円）

		金額（構成比）	償却・引当 予定額	償却・引当後 無保全額（見込み）
I分類	回収について問題のない貸出金	17,682（81.2%）	—	—
II分類	回収について注意を要する貸出金	4,077（18.7%）	—	—
III分類	回収について重大な懸念がある貸出金	8（0.0%）	8	0
IV分類	回収不能と判定される貸出金	3（0.0%）	3	0
合計		21,771（100.0%）	11	0

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

・III分類、IV分類の貸出金については、回収に取り組んでまいります。年度末までに回収ができない場合は、その100%を償却・引当処理する方針です。

②金融再生法で定められた債権区分

（金額単位：億円）

	金額（構成比）	うち 無保全額	償却・引当 予定額	償却・引当後 無保全額（見込み）
正常債権	21,254（97.6%）	—	—	—
要管理債権	50（0.2%）	—	—	—
危険債権	389（1.8%）	6	6	0
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	89（0.4%）	5	5	0
合計	21,781（100.0%）	11	11	0

※「金額（構成比）」は、単位未満を四捨五入しています。

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

・「危険債権」「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の無保全額については、回収に取り組んでまいります。年度末までに回収ができない場合は、その100%を償却・引当処理する方針です。

③信用金庫法で定められたリスク管理債権

(金額単位：億円)

	金額
リスク管理債権総額 (A)	267
破綻先債権額	12
延滞債権額	98
3ヵ月以上延滞債権額	—
貸出条件緩和債権額	156
うち担保・保証付き債権額(B)	231
リスク管理債権(C)=(A)-(B)	36
貸倒引当金残高(D)	42
貸倒引当金控除後のリスク管理債権(E)=(C)-(D)	△ 6

- ・担保・保証控除後の「リスク管理債権」、いわゆる無保全部分は 36 億円となっていますが、回収に鋭意取組んでまいります。
- ・今年度に入って発生した不良債権に対する引当分等や、回収された引当金を加味すると、貸倒引当金残高はリスク管理債権 (C) を 6 億円上回る 42 億円となる見込みであり、高い健全性を示していると言えます。

3. 有価証券の状況

●売買目的有価証券、満期保有目的の債券

該当ありません。

●その他有価証券で時価のあるもの

(金額単位：百万円)

	帳簿価額	時 価	評価差額	過年度処理済額	今年度増減額
株 式	87	215	127	154	△26
債券・その他	375,560	379,870	4,309	3,575	734
合 計	375,648	380,085	4,437	3,729	707

※評価差額の過年度処理済額は、税効果相当額を控除し、純資産の部にて処理が済んでいます。

●時価を把握することが困難な有価証券

その他有価証券（非上場株式） 225 百万円
 子会社・子法人等株式 30 百万円

4. 自己資本比率（平成 30 年 9 月末実績）

平成 30 年 9 月末の当金庫自己資本比率は 9.91% となり、国内基準である 4% の 2 倍以上であり、当金庫の経営の健全性がわかりいただけると思います。

自己資本の額（コア資本に係る基礎項目の額-コア資本に係る調整項目の額）	
1,831 億円	
自己資本比率 =	× 100 = 9.91%
1兆8,461 億円	
信用リスク・アセット+オペレーショナルリスク	

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

「軽減税率対策セミナー」を開催

飲食業を中心に、食品を取扱う事業者は、本年 10 月よりスタートする消費税増税に伴う軽減税率制度への対応を行う必要があります。そこで、当金庫では、株式会社リクルートライフスタイルと株式会社スマレジの 2 社と業務提携を結び、対策の支援を開始しています。

平成 31 年 3 月 6 日（水）には、本店講堂において「軽減税率対策セミナー～今から対策を始めて円滑な事業展開を～」を開催しました。第 1 部では、品川税務署から講師をお招きし、軽減税率制度により何がどのように変わるのか、飲食店や小売店等はどう対応すべきなのかについて説明いただきました。第 2 部では、株式会社リクルートライフスタイル様より「補助金を活用したモバイル POS レジ導入について」と題し、補助金を活用した POS レジの導入方法等、より具体的なサービスについてわかりやすく解説していただきました。



「HANEDA Future Core」開業に向け、企業のネットワークを形成するイベントを開催

平成 31 年 3 月 5 日（火）、「HANEDA Future Core オープンイノベーション促進による新たなネットワークの形成 ～ 2020 年 羽田空港を核とした新たな取組～」と題したイベントが、大田区産業プラザ Pio において開催されました。（主催：公益財団法人大田区産業振興協会、共催：三井住友銀行、さわやか信用金庫、川崎信用金庫、城南信用金庫）

国際的な規模と機能を有する産業・文化の交流拠点「HANEDA Future Core」の羽田空港跡地での開業に先立ち、活発なオープンイノベーションにつながる企業同士のネットワーク形成を目的とし、当日は基調講演のほか、大田区ゆかりの大手企業によるプレゼンテーションや参加した企業同士の名刺交換会等が行われました。



また、羽田空港跡地には、当金庫が事務局となり、お客様の「売りたい」「買いたい」「組みたい」「こんなことで困っている」などの、すべてのお悩み事を解決するため、日本全国の信用金庫が参加して立ち上げる“よい仕事おこしネットワーク”の拠点を置く予定です。信用金庫による地方創生を実現すべく、“日本の玄関口である羽田”から全国をつないでまいります。